

# 多様な性を理解し対応していく

## 誰もが自分らしく暮らせるために

● 問合先 企画政策課男女協働推進係 ☎23-2115

皆さんは『性』と聞くと『男性』と『女性』を思い浮かべると思います。しかし、性は2つに分けられるほど単純ではなく多様なものです。『LGBTQ』をご存じですか。「LGBTQと言われている自分には関係ない」と思う人がいるでしょう。昨年6月にLGBT理解増進法が施行されましたが、これによって社会的に正しい理解が十分に広まったとは言えない状況です。ある民間企業の調査では『10人に1人が性的少数者』という結果が出ています。この割合は、すべての血液型に占めるAB型の人の割合とほぼ同じで、性的少数者は身近な存在です。

人は生まれた時の身体的特徴から男女を判別し、性別が決められますが、性のあり方はもつと多様で複雑です。どのような性があるのでしょうか。ここでは、性の4つの構成要素を紹介します。

### 性のあり方

- **からだの性**  
生まれた時の身体の特徴で判断された法律上の性
- **こころの性**  
自分が認識している性(性自認)
- **好きになる性**  
恋愛感情を抱く性(性的志向)
- **表現する性**  
服装や言葉づかい、しぐさなどで自分が表現する性



### LGBTQ

- **Lesbian(レズビアン)**  
女性を恋愛対象として好きになる女性
- **Gay(ゲイ)**  
男性を恋愛対象として好きになる男性
- **Bisexual**  
(バイセクシュアル)  
好きになる性が異性の場合も、同性の場合もある人
- **Transgender**  
(トランスジェンダー)  
からだの性(法律上)と、こころの性(性自認)が異なる人
- **Questioning**  
(クエスチョニング)  
性的志向や性自認が分からない・決まらない人

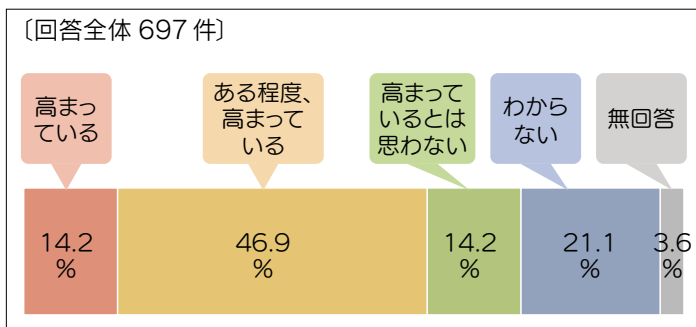
LGBTQのほかにもエックステンダー(自分の性が男性にも女性にも当てはまらない人)や、アセクシュアル(どの性にも恋愛感情を抱かない人)などがあります。LGBTQの尊厳とLGBTQの社会運動を象徴するレインボーフラッグ(虹の旗)は、1970年代から使用され始め、今では世界中で使われています。現時点でもっとも広く使われている虹の旗は6色構成で、それぞれの色には次のような意味が込められています。

- レッド||生命
- オレンジ||癒し
- イエロー||太陽
- グリーン||自然
- ネイビー||調和
- パープル||精神



### 市民の意識

市は、令和3年9月に男女協働参画に関する市民アンケートを実施し、そのなかで次のような問いをしました。**【問】あなたは、性的少数者(LGBTQ)について、社会的な意識が高まっていると思いますか。**



**【結果】**『高まっている』『ある程度、高まっている』が合わせて約6割、残りの約4割の人が、まだ意識が高まっていないという結果になりました。

## 【座談会参加者】

## ① 吉岡剛彦さん

(佐賀大学教育学部教授)

※性的少数者などの人権や差別問題に詳しく、法哲学が専門です。

## ② 川原フジエさん

(市男女協働参画懇話会長)

## ③ 水島義彦さん

(市男女協働参画懇話会副会長)

## ④ 平野安希さん

(市男女協働参画懇話会委員)

## ⑤ 岩崎克信さん

(市総合政策部企画政策課長)

『性的マイノリティが安心して暮らしていける社会になるためには』をテーマに、市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』のメンバーが吉岡剛彦さんと座談会を行いました。

座談会では、それぞれの視点や体験などを基に、いろいろな話が展開されました。

今回のテーマについて、皆さんであればどのような意見を持ちますか。座談会での話をヒントに、皆さんも自分にできることなどを考えてみませんか。



↑意見を交わす吉岡さん(右)、川原さん(右から2人目)、水島さん(左から2人目)、平野さん(左)

## 制服の選択制

## ⑤ 岩崎さん

テーマに沿って、日頃思うことや、疑問に思うことを中心に話してください。

## ④ 平野さん

身近なところにLGBTQの人はいると思います。

## ② 川原さん

わからないだけで身近にいるかもしれない。5年ほど前、自分が性的マイノリティであることに悩んでいる子どもを持つ保護者と話をしたことがあり、その保護者は「子どもが周囲や学校に対してカ

ミングアウトをするべきかどうか」と悩んでいました。のちに、その子どもは専門の相談機関で助言を受け、カミングアウトをしたことよって心が落ち着いたそうです。

ところで、市内の中学生・高校生の男子で、スカートをはいている生徒を、まだ見たことがありませんが、勇気が出せないでいるのでしょうか。

## ⑤ 岩崎さん

学校によっては、まだ制服が選択制になっていないところがあるようです。

## ② 川原さん

女子生徒がストラックスをはいているのは見かけますが、校則で決まっているのでしょうか。

## ① 吉岡さん

制服が選択制になっているところは、戸籍上は男性の生徒のスカート着用も認めているはずですが、まだ地域の理解が進んでいないため地方だとなかなか難しいですが、都会だと違和感なくスカートを履いている男子生徒がいるという話です。

## 学校での教育

## ⑤ 岩崎さん

思い起こすと私が子どもだったときにも『女子っぽい男子』がいたと記憶しています。その頃に比べて、今は先生たちが細かく配慮しながら教育をしていると感じています。

## ③ 水島さん

学校では、LGBTQの教育は行われているのでしょうか。

## ① 吉岡さん

文部科学省の学習指導要領では、今のところLGBTQについての教育は義務づけられていません。

## ④ 平野さん

なぜ制服の選択制が広まったのでしょうか。

## ① 吉岡さん

それは、現に『性別違和』のある子どもがいるからです。国が、2015年に『性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施について』を学校へ通達したから、学校において配慮されるようになりました。

## ④ 平野さん

では、子どもたちはどのようにして学ぶのでしょうか。

動画などの情報からですか。

## ① 吉岡さん

不正確な情報が蔓延しているので注意が必要です。例えば学級図書にLGBTQに関する書籍を置いておけば、関心のある子どもが手に取って正確な情報を得ることが出来ます。

## ⑤ 岩崎さん

うちは子どもが3人いますが、身近なところに性的マイノリティの人がいるといった話は聞いたことがないです。近くにいれば自然と意識が変わると思いますが、それと、個人差はあるでしょうが、ある一定の時期になれば『性自認としてのジェンダー』に気付くのではないのでしょうか。

## ① 吉岡さん

トランスジェンダーの子どもは性別違和は早ければ幼少期からで、思春期にはつきりと自覚される例も多いです。どうしても『男の子は男の子らしく』『女の子は女の子らしく』という固定的な観念で服装やしぐさなども自分の気持ちとは反して育てられ「自分とんだか合わない」と意に反しながら成長していくようです。

## 男女別

### ⑤ 岩崎さん

以前に比べると相談窓口がで  
きるなど支援環境は少しずつ整  
ってきていて、佐賀県内では『パ  
ートナーシップ宣誓制度』が始  
まっています。しかし、宣誓制  
度による効果は、公営住宅の入  
居申し込みや医療機関での面  
会、手術同意などに限定されて  
いて、もっと利用できるサービ  
スが増えていく必要があると感  
じています。ほかに課題だと感  
じていることはありますか。

### ② 川原さん

どうしても年配の男性は固  
定的な役割分担意識を持った  
人が多く、意識が変わってい  
きません。ただ、若い人たち  
の間では、多様性の尊重が進  
んでいるように感じます。

### ④ 平野さん

さまざまな書類の中で、性  
別にチェックをするものが多  
いように感じます。

### ③ 水島さん

オリンピック競技は男性・女  
性が一緒にはならないですね。

### ① 吉岡さん

性別欄については、不要な  
ものは無くしていく傾向にあ  
ります。ただ、性別を問うと  
きに、先に『男性』の選択肢

がくることが多く『女性』が  
先でよいし、本当に性別を問  
わなければならぬのか見直  
しが必要だと思っています。

それと、スポーツに関して  
は『男女別』が根強く残って  
いて難しいですね。オリンピ  
ック競技で話題になりました  
が、トランスジェンダー選手  
は性自認で出場することがで  
きます。しかし、以前は性自  
認が女性のトランス女性選手  
の場合には男性ホルモンが基  
準になっていて、一定以下で  
ないと『女性枠』で出られず  
『性別適合手術』をしているこ  
とが条件にありました。今後  
さらに見直されていく可能性  
があります。

オリンピックも、種目を細  
かくクラス分けできてけれ  
ば良いのかもしれない。

### ⑤ 岩崎さん

いま、子どもが少年野球を  
していて、今度、名称を変更  
することに、その話し合  
いをしていのですが、候補  
に拳がる名称の最後には、メ  
ンバーの中に女の子がいるの  
に『少年野球』が必ずつきます。  
今まで意識したことはなかつ  
たですが、『身近なところで  
実態と合っていないこと』は、  
意外と多くあると思います。

### ① 吉岡さん

もはや『男女別』と考える  
ことがそぐわないのではない  
でしょうか。性の多様性に適  
した名称を選択した方が良い  
と思います。

### ② 川原さん

私たちが子どもの頃は「男の  
子でしょ」「女の子でしょ」と  
言われながら育ってきました。

### ① 吉岡さん

世間は、どうしても性役割  
としてのジェンダーを押しつ  
けてしまっています。例えば、足  
を開いて座っている女の子が  
いれば、あえて「女の子なん  
だから」と言う必要はないで  
すが、やはり「女の子なんだ  
から足を閉じなさい」と言っ  
てしまいますし、男女が同じ  
ように足を開いて座っていた  
としても、女の子だけ注意さ  
れます。そのような経験から  
ジェンダーが刷り込まれてし  
まいます。

### ④ 平野さん

息子と娘が同  
じ言葉を使って  
いても、つい娘  
には「男っぽい  
からやめて」「も  
う少し女らしく」  
と言ってしまう  
ます。



## カミングアウトされたら

### ③ 水島さん

年頃の娘がいますが、もし  
娘がカミングアウトしたらと  
想像すると、本来は受け入れ  
るべきなんでしょうけど、つ  
い「孫の顔を見てみたい」と  
思ってしまうます。

### ⑤ 岩崎さん

「もし自分の子どもが」と考  
えると、認めようとしつつも、  
どこか引かかかってしまうの  
ではないでしょうか。吉岡先  
生は、親としての受け止め方  
について相談を受けたことは  
ありませんか。

### ① 吉岡さん

非異性愛者の多くにとつ  
て、孫の問題は深刻です。親  
が悲しむことが分るので打  
ち明けられませんが、でも、孫  
のために結婚する訳ではない  
ですよ。男女間のカップル  
でも結婚しても子どもがで  
きない人だっていますし、親の  
ために人生があるわけではあ  
りません。当事者は自分の人  
生を自分らしく生きるべきだ  
と思います。

家族にさえ、あるいは家族  
だからこそ打ち明けられない  
当事者には相談先があること  
が望ましいですね。

都市部だと、支援団体など  
がありますので当事者同士で  
相談し合うことができます  
が、田舎だと孤立しがちです。

### ④ 平野さん

子どもたちが打ち明けやす  
くするために、  
どうしたらいい  
のでしょうか。

### ⑤ 岩崎さん

カミングアウ  
トした後は危険  
だと聞きました。

### ① 吉岡さん

当事者の相談内容を、本人  
に無断で暴露する『アウトテ  
ィング』に注意しましょう。ふ  
だんからの取り組みとして研  
修を受けたり本を読んだりす  
るなどして、理解を進める機  
会が保護者の世代にあれば良  
いと思います。手元に本を置  
いておくなどの姿勢が見えれ  
ば、当事者も親に打ち明けや  
すくなりますし、親としても  
知識があるのと無いのでは  
受け止め方が違います。

### ⑤ 岩崎さん

私たち大人がもっと意識を  
高めていかなければなりませ  
ん。関心を持ってもらうため  
には、情報発信が必要ですし、  
今は、市民向けの講演会や学  
習会の機会を増やしていきます。

